



地域研究集会

2022年度九州沖縄地区合同シンポジウム 海洋学におけるデータサイエンス

日 時：2022年12月8日（木）9:30～17:00

会 場：鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学郡元キャンパス 稲盛会館

コンビーナー：加古真一郎（鹿大院理工），中村啓彦（鹿大水）

共 催：日本海洋学会西南支部，日本海洋学会沿岸海洋研究会

挨拶：笠井亮秀（一般社団法人水産海洋学会副会長）

9:30～9:35

中野俊也（日本海洋学会西南支部長）

9:35～9:40

趣旨説明：加古真一郎（鹿大院理工）

9:40～9:45

【基調講演】

座長：加古真一郎（鹿大院理工）

1. AIと市民科学による海洋プラスチックごみ研究

9:45～10:25

松岡大祐（JAMSTEC）

2. データサイエンスの海洋・水産分野への応用

10:25～11:05

～データサイエンスは良い漁場を見つけられるのか？～

飯山将晃（滋賀大データサイエンス）

【一般講演】

座長：杉松宏一（水産機構技術研）

3. 多様なステークホルダーが持つ研究ニーズ把握手法の検討

11:05～11:25

渡慶次 力（福井県立大院生物）

4. 漁業者向け海洋データの可視化及び実装

11:25～11:45

小田謙太郎（株式会社メタシステム研究所，鹿大基盤センター）・国府田 諭（株式会社メタシステム研究所）・水上陽介（オーシャンソリューションテクノロジー株式会社）

5. 水産ビッグデータの構築と衛星データ活用によるスマート水産の社会実装

11:45～12:05

水上陽介（オーシャンソリューションテクノロジー株式会社）・小田謙太郎（株式会社メタシステム研究所，鹿大基盤センター）

（昼休み）

12:05～13:10

座長：渡慶次 力（福井県立大院生物）

6. 海洋観測ビックデータを生み出すArgoとデータ品質管理への適用

13:10～13:30

細田滋毅（JAMSTEC）

7. 八代海有害赤潮対策のための大型自動観測ブイ

13:30～13:50

杉松宏一（水産機構技術研）

8. 帰納的機械学習モデルによる全球気候区分

13:50～14:10

島袋 琉（熊大院自然科学）・富田智彦（熊大院先端科学）・福井健一（大阪大産業科学研）



座長：渡邊俊輝（山口水研セ）

9. 北部薩南海域の春期ブルームにおける動物プランクトンのエネルギー経路 14:10～14:30
谷口綾音（鹿大水）・一宮睦雄・小森田智大（熊県大共生）・東 隆文・牧野文洋・
久米 元・小針 統（鹿大水）
10. カツオ仔稚魚の成長および餌生物の海域間比較 14:30～14:50
山口琴音・山田やよい（鹿大水）・木村克也・津田裕一（水産機構資源研）・久米 元・
小針 統（鹿大水）
11. 薩南海域に來遊するブリ稚魚の餌料源 14:50～15:10
中谷颯人（鹿大水）・一宮睦雄・小森田智大（熊県大共生）・東 隆文・牧野文洋・
小玉将史・久米 元・小針 統（鹿大水）
(休憩) 15:10～15:20

座長：中村啓彦（鹿大水）

12. 九州南部海況予報モデルのデータ同化実験 15:20～15:40
広瀬直毅・劉 天然（九大応力研）
13. 物理生態系結合モデルを用いたケンサキイカ漁場予測の試み 15:40～16:00
伊藤毅史（佐賀玄海セ）・高山勝巳（いであ株式会社）・広瀬直毅（九大応力研）
14. 3次元海洋熱輸送のより正確な推定方法 16:00～16:20
谷口勝平・広瀬直毅・劉 天然・大貫陽平（九大応力研）
15. 同化モデルで再現された降水起源の低塩分プールとその挙動 16:20～16:40
滝川哲太郎（長大院水環）・広瀬直毅（九大応力研）・立花義裕（三重大院生物資源）・中村啓彦・
仁科文子（鹿大水）共同観測チーム

総合討論

進行 加古真一郎（鹿大院理工），中村啓彦（鹿大水） 16:40～17:00

閉会の言葉

17:00

開催趣旨：持続可能な開発目標（SDGs）が2015年9月の国連サミットで掲げられ、この目標の達成に向けて多くの研究が遂行されている。中でも特に、ビッグデータを活用したデータサイエンスの推進が期待されている。海洋研究においては、大量に蓄積されたデータを十分に活用しきれてはいないものの、着実に研究成果は積み上げられている。本シンポジウムでは、九州・沖縄地方周辺での事例を中心に、データサイエンスに関連した研究事例を紹介する。ここでは、海洋・気象観測データ、人工衛星データ、現場観測値をモデルシミュレーションに同化した再解析データなどを活用した海洋（物理・生物・化学）研究や、漁業現場、海洋環境問題への応用研究など、多岐に渡る研究成果を紹介する。本シンポジウムを通じて、ビッグデータを活用した分野横断的な連携研究が推進・強化されることを期待する。